



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 S B S ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 鎌 田 正 彦
(コード番号: 2 3 8 4 東証プライム)
問い合わせ先 I R・広報部長 熊 谷 知 未
(電話番号: 03-6772-8200 (代表))

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、このたび、2026 年度から 2030 年度までの 5 か年を期間とする中期経営計画「Harmonized Growth 2030」を策定し、2026 年 2 月 13 日開催の取締役会において決議しましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 策定の背景

当社は、2025 年度を最終年度とする中期経営計画「SBS Next Stage 2025」において、グループ総合力の強化とロジ基盤の整備・拡充に取り組んでまいりました。積極的な営業施策と M & A 戦略によって、連結売上高は 2020 年 12 月期の 2,571 億円から 2025 年 12 月期は 4,903 億円と、大幅な伸びを達成しましたが、その一方で、主力の物流事業において利益率が伸び悩み、ここ数年の物流事業の連結営業利益率は 2 % 台にとどまっております。

そこで、今後の中長期的な企業価値の向上や株主価値の最大化を見据え、企業の持続的成長を通じて売上高の伸長のみならず利益率の向上も伴った“Harmonized Growth (均整のとれた成長)”を追求すべく、今回、新たな中期経営計画を策定いたしました。

2. 基本方針

当社が物流事業における 3 本柱と位置付ける、3 P L、国際物流、E C 物流それぞれのオーガニックな成長に自社開発倉庫への投資を中心とする不動産事業を組み合わせ、さらに国内外での積極的な M & A により高成長を持続します。同時に、収益面で持続的な構造改革を推進し、物流事業の利益率の飛躍的な改善をめざします。

3. 計数目標

最終年度の2030年12月期における、主要な計数目標は下記のとおりです。

(「Harmonized Growth 2030」における主要計数目標)

| | 2025年12月期 実績 | 中期経営計画 (2030年12月期 計画) |
|------------|--------------|--------------------------|
| 連結売上高 | 4,903億円 | 7,000億円 |
| 連結営業利益 | 212億円 | 380億円 |
| 物流事業 営業利益率 | 2.6% | 4.5% |
| R O E | 12.7% | 14.1% |

詳細については下記リンク先をご覧ください。

<https://www.sbs-group.co.jp/sbshlds/ir/plan/>

以 上